

福知山公立大学×福知山商工会議所

オープンゼミナール

～課題解決のヒントが見つかるかも～

福知山商工会議所は福知山公立大学と連携し、公立大学教授の研究室を訪問し見学や懇談をする『オープンゼミナール』を開催することとなりました。

「これまで蓄積した販売データを販売戦略に活かしたい」「購買状況のデータを集め販売促進を図りたい」「ICTを使った経営がしたい」といった企業の困りごとを大学と連携することで解決できるかもしれません。

大学には分野ごとに専門の研究者がおられます。今回は2020年に新設された「情報学部の」3教授の研究室を見学し、研究内容や成果を知っていただけます。

大学教授と懇談することで自社の課題解決のヒントが見つかるかもしれません。

『オープンゼミナール』は企業と大学の距離を近付ける取り組みです

是非この機会に、気軽にご参加ください。



参加無料

ゼミテーマ	サービス業の 生産性向上	人間とロボットの 付き合い方	AIにできること
開催日時	10月26日(火) 14:30~16:30	10月27日(水) 13:30~15:30	10月28日(木) 14:30~16:30
担当教授	山本 吉伸 教授	倉本 到 教授	黄 宏軒 教授
対象	経営者・経営幹部・業務担当者 など		
会場	福知山公立大学 (福知山市字堀3370)		
その他	お申込みの方へは、追って詳細を記載した参加案内をお送りします		

※ゼミの内容等については裏面をご覧ください

福知山公立大学×福知山商工会議所
オープンゼミナール参加申込書

事業所名	TEL		
	FAX		
受講者名	E-mail		
受講ゼミ (複数選択可)	サービス業の 生産性向上	人間とロボットの 付き合い方	AIにできること

※「参加申込書」に必要事項をご記入の上、FAX・メール・お電話でお申込みください。参加申込書にご記入いただいた情報は、福知山公立大学と福知山商工会議所で共有させていただきます、本事業の実施運営、大学・商工会議所からの各種連絡の目的にのみ使用いたします。

【主催】福知山商工会議所 / 〒620-0037 福知山市字中ノ27

TEL : 22-2108 FAX : 23-6530 E-mail : fukuchi@kyo.or.jp

福知山公立大学×福知山商工会議所
オープンゼミナール 内容と担当教授

サービス業の生産性向上

山本 吉伸 教授



だれも未来のことはわかりませんが、一つだけわかっている未来があります。それは少子高齢化による人口減少です。現在1億2千万人いる日本人は、2100年には約3分の1、4千万人台になると予測されています。将来、人口が増加に転じることを期待させる数字は一つもありません。一般論としてサービスというのは人がたくさんいるところでは豊かになります。「人が少ない地域でどのようにサービスを維持・発展させるか」が私の研究テーマです。すでに多くの地方地域では人口減少が現実の問題であり、「何もしないことによるリスク」は「変革のための投資リスク」よりはるかに大きくなっています。チャレンジ精神ある方のご参加をお待ちしております。

人間とロボットの付き合い方

倉本 到 教授



経歴: 2001年阪大卒、京都工芸繊維大学、大阪大学を経て2019年より現職。
内容: 人間とコンピュータやロボットとのやり取り(インタラクション)に関する研究を行っています。コンピュータやロボットは現在もこれからも付き合っていかなければならない対象であり、その間をどう取り持つかを考えるのはすべての産業において重要です。そこで本ゼミでは、その中でも特に人間とロボットとの関係性(付き合い方)に着目し、福知山市内で実施したロボット導入実験を含むこれまでのロボット・コンピュータと人間との間のやり取りに関する研究を俯瞰します。そのうえで、その背後にある考え方と、ロボット・コンピュータ導入のメリット・デメリットについて議論していこうと思います。

AIにできること

黄 宏軒 教授



台湾台北市生まれ。2009年京都大学情報学研究科知能情報学専攻博士後期課程修了、博士(情報学)。同年成蹊大学理工学部情報科学科科研究費特別研究員。2010年より立命館大学情報理工学部情報コミュニケーション学科助教、2013年同准教授。2018年より国立研究開発法人理化学研究所革新知能統合研究センター「人とAIのコミュニケーションチーム」研究員。2020年より現職。人工知能、ヒューマンインタフェース、コミュニケーション科学の研究に従事。世間ではAI、AIと話題になっていますが、その中心になるのは機械学習という技術です。今回のオープンゼミナールはこれまでのAI技術発展の歴史、そして、機械学習特に深層学習技術の概要とそのできること、できないことについて解説していきます。